

事業所名		こどもデイサービスセンター「ゆうゆう」				支援プログラム（児童発達支援）		作成日		2025 年		1 月		31 日							
法人（事業所）理念		基本理念：私たちは最も地域に開かれた、地域に愛される、地域に信頼される、地域に安心していただける福祉サービスの拠点となることを目指します。																			
支援方針		○利用児の健全な発達を支援し、身近な地域で安心して生活できるよう適切な助言や指導ができる療育支援を目指す。 ○保護者や関係機関と連携して、こどもたちが可能性を最大限に伸ばし、自立して社会参加ができるための必要な力を身につけられるように支援する。																			
営業時間		9 時		30 分		から		12 時		30 分		まで		送迎実施の有無		あり		なし		要相談	
		支 援 内 容																			
本人支援	健康・生活	・健康状態の維持、改善 ・生活のリズムや生活習慣の形成 ・基本的生活スキルの獲得				プログラム		挨拶、入室時の検温、連絡帳、水筒、タオル等を出す。排泄行動の確認、手洗い、食事時の行動の確認（箸の持ち方など）帰りの準備（荷物をカバンに入れる、自分のカバンを持って行動する）必要に応じて個々の行動の支援を す行う。インリアル法を取り組み 挨拶													
	運動・感覚	・姿勢と運動、動作の向上 ・空間、時間、動作の補助的手段の活用 ・保有する感覚の総合的な活用				プログラム		体操、サーキット（平均台、マット、トンネルくぐり、けんけんば）ボール遊び、縄跳び、椅子取りゲーム 季節 の行事ごとの集団遊び、トランポリン、戸外散歩、机上課題（季節の制作等） プール遊び、芋植え、芋ほり、 野菜植え、収穫、調理、おやつ作り													
	認知・行動	・認知の発達と行動の習得 ・空間、時間、数等の概念形成の習得 ・対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得				プログラム		活動の流れに沿って行動する、時間の流れ、ごっこ遊びと設定遊びの中で人とのやり取りや距離感を知る 人数を数えたり、物の数を数えたり、それぞれの意見を交換するなど 必要に応じて環境を整理する													
	言語 コミュニケーション	・言語の形成と活用 ・言語の受容及び表出 ・コミュニケーションの基礎的能力の向上 ・コミュニケーション手段の選択と活用				プログラム		挨拶、自己紹介（人前で自分の名前を言う）絵本の読み聞かせ、ごっこ遊びや設定遊び（SST、カルタ、絵探し、ク イズ、壁面制作）個々の状況に応じて インリアル法でモデルになって見本をみせて行く 言語聴覚士：専門的支援加算 個別の時間を必要とする児童には時間をとる													
	人間関係 社会性	・他者との関わり（人間関係）の形成 ・自己の理解と行動の調整 ・仲間づくりと集団への参加				プログラム		お集まりで友達や支援者と交流、戸外への散歩や外出行事等で外の環境を知る。公共の場所での過ごし方を体験す る。老人のデイサービスなどに訪問（敬老行事）													
家族支援		相談があれば随時対応する、必要に応じて保護者へのアドバイスを行う ペアレントプログラム、保護者懇談会開催								移行支援		保護者の意思確認、移行先の保育園や幼稚園と連携、小学校との連携 保健師との情報共有									
地域支援・地域連携		通園先との連携、医療機関、保健所、児童相談所など専門機関との連携 教育機 関との連携、個別支援会議の出席、自立支援会議等への参加 地域の行事への参 加等								職員の質の向上		年2回以上の研修受講、施設見学等									
主な行事等		（月案）幼稚園交流、芋植え掘り、野菜植え、消防署見学、クッキング、敬老訪問、春、秋遠足、水遊び、運動会、ハロウィン、クリスマス会、節分、ひな祭り、お別れ会																			